

## 大型紙芝居ですざかの昔を語ろう

### 取組に至る背景・事業の目的

当会では、須坂市内の小中学校の読書イベントや、地域の子ども会、高齢者施設、公民館等で町の歴史や、偉人伝、地域の伝説を語り、読み聞かせ紙芝居の口演活動を行ってきた。

須坂市には素晴らしい歴史遺産や伝説、偉人伝が数多くあるが、あまり知られていないのが現状である。よって、これらを元にした大型紙芝居を作成し、地域の文化の伝承を図り、故郷への愛着や誇りを高め、次の世代へ引き継いでいくことを目的に実施した。

### 事業内容

大型紙芝居を作成するにあたって、現地に何度も足を運び、資料を収集・研究し、研究者や地域の高齢者にお話を伺うなど史実に忠実に照らし合わせた。そして、地域の皆さんに原案の段階で試聴していただき修正を重ね、文や絵の表現に関する専門の方のアドバイスをもらい完成させた。

上演活動については、市内小中学校、地域公民館、高齢者施設などで口演活動を行った。更に須坂市の歴史を学ぶ講座に参加したほか、ラジオ放送に出演するなど広く上演活動を行い、延べ2,256名の参加があった。

### 事業効果

地元住民だけでなく、他地域の方や観光客にも、町の歴史や伝説、偉人に対する知識・関心が深まり、広く地域文化の伝承が図られた。

紙芝居の作成の過程での、伝説の掘り起こし、現地聞き取りで、世代間の交流ができた。

また、小中学校や育成会など他団体と連携したことにより、小中学生など若年層との世代間交流が図られ、大人から子供まで一緒に地域の歴史や文化に触れ、故郷須坂への愛情や誇りを高めるとともに、次の世代へ引き継いでいくことができた。



【大型紙芝居口演の様子】

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

地域の皆さんが、須坂市の史実に基づいた歴史・文化について理解を深め、地域への誇りや愛着を育み「すざかはいいところ」を再認識してもらうため、将来の担い手となる人材の育成や、地域の歴史・文化について、後世に伝えていくことの大切さを考える学習会を開催していく。

また、須坂市のイベント「堀直虎公没後150周年記念事業」に向け、地域が一体となって盛り上げられる様に、地域の皆さんに歴史を知っていただく活動をしていく。

#### 【選定のポイント】

紙芝居作り及び紙芝居上演を通じて住民が地域の歴史を学ぶことにより、地域の文化伝承などを次世代に繋げる取組が推進され、子供達の郷土愛醸成が図られたほか、県内ラジオ放送で発表するなど積極的な情報発信等により、他団体などでも紙芝居により文化伝承を図る取組が現れるなど、事業の広がりが見られる。

団体名	蔵の町すざか昔を語る会（須坂市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	026-246-8585	事業費	304,500円
		支援金額	304,000円